

滋賀県立

聴覚障害者センター

だより



— 50号 —

発行日 / 平成20年11月20日
発行所 / 草津市大路2丁目 11-33

TEL 077-561-6111
077-561-6133

ホームページ
<http://www.shigajou.or.jp>

岐阜県が加盟し、全聴情協は37施設へと拡大

全国聴覚障害者情報提供施設協議会

平成20年度総会および第4回大会報告

この総会および大会は、全国の聴覚障害者情報提供施設の管理者等が施設経営と事業運営等について研究・討議するために毎年開かれているものです。6月25日から27日間に渡って、石川県社会福祉会館で開催されました。

主な内容は、①全聴情協事務局による「本年度事業計画」と「厚生労働省へ提出した要望書」の概要説明。②厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画自立支援振興室・情報支援専門官 東秀明氏による「聴覚障害者の情報・コミュニケーション支

援」をテーマにした講演。③筑波技術大学内藤教授による「遠隔地情報システム」の紹介。④関東ブロックがブロック内の施設に対して実施した「自立支援法施行後の通訳者・要約筆記者派遣に関するアンケート」の結果報告。⑤各ブロックに分かれての情報交換会。

全聴情協は、本年度から新たに次の事業を実施する予定です。①専門委員会を設置しての調査研究（デジタル化に関すること、派遣コーディネートに関すること、テレビ電話を用いた遠隔地支援に関すること）②

ブロック単位の活動を活性化させるための予算面での援助③遠隔地情報システムの活用を目指して、筑波技術大学と協定を締結すること。当センターが所属する近畿ブロックでは、制度が遅れている事業と自立支援法施行により地域格差が生じ

ている派遣事業について、アンケートをとる予定です。アンケートにより、各施設の状況を集約したいと考えています。各施設のばらつきをなくし、事業内容と事業レベルを統一することが目的です。

パソコン要約筆記登録者研修会報告

ゲーム機PSPを使った パソコン要約筆記

6月頃の新聞紙上に聴覚障害者に文字情報を提供する方法としてゲーム機を使ったパソコン要約筆記の記事が掲載されました。そこで、この画期的な方法を滋賀県でも活用できるように登録者に学んでいただく機会を設けたく8月17日(日)当センターで研修会を開催しました。講師には静岡県パソコン要約筆記登録者の森直之さんをお招きし、森さん自身が開発されたソフトの解説と無線ルータを通して、パソコン要約筆記で入力した文字をPSP(プレイステーションポータブルの略)に送りこむノウハウを学びました。PSPは子どもたちがゲームを楽しむ市販のゲー

M機ですが、無線で文字を受信するため、わずらわしい配線がなく、ノートパソコンよりも小さく(約16.5cm×7cm)、軽いこと(約200g)が利点です。体育館、広い会議室などで、移動が伴うとき、結婚披露宴のように配線につまずくと困るような場、会議中も資料をみたり、メモを取ったりが楽にできることが特長としてあげられます。利用者の自立性は高まり、ひっそりと情報保障ができますが、そのことが聞こえにくい障害を周囲に理解してもらいにくい結果も生じますので、活用場面は慎重におこなうべき点が留意点だと思います。参加された登録者の

方々からは、この活用に向けさらに研修を積んでいきたいという意欲が感じられ意義深い研修となりました。

Ⅱ日曜教室Ⅱ

「いきいき教室」

日曜教室「いきいき教室」は、県の委託を受けて、聴覚障害者を対象に日常生活に必要な知識や情報を学び、レクレーションなどを通して交流を行う事業です。3年前から湖北地域で実施してきました。今年度は第3木曜日に開催日を固定して毎月一回、米原市内で開催しています。参加者は湖北地域を中心に県内各地から約20人が「毎回楽しみに！」と、集まっています。

朝10時からスタートして、まず、一日のスケジュールを確認します。午前中は各テーマの学習会です。何を学習するかは、年度始めに参加者みんなが意見を出し合って決めました。7月は「後期高齢者医療制度」、8月は「熱中症・日射病」、9月は「災害時の対策」について学習しました。

「災害時の対策」は県防災危機管

理局から講師を招き、「できることから地震対策！」と題して、阪神・淡路大震災では死亡原因の約80%が家屋倒壊や家具転倒によるもの、まず家具を固定すること、避難場所の確認、非常持ち出し品の内容などについて、クイズを交えながら分かりやすくお話していただきました。質疑応答の後、参加者からも阪神・淡路大震災直後に滋賀からの支援メンバーとして現地に入ったときのことや豪雨による水害にあった時の体験談が話されました。当時の恐怖や苦労が目に見えかぶような表情豊かな話ぶりに、みんな真剣に見入っていました。

生活や健康に関わる身近で大切なテーマを取り上げ、手話通訳を介して学び、参加者みんなが自分の生活に結びつけて考えることができる重要な場となっています。「後期高齢者医療制度」学習会の後、早速、手話通訳を依頼して手続きに向いた参加者もあります。

昼食の後の交流レクレーションも参加者と話し合っって内容を考えます。9月はふたつのグループに分かれて折り紙を使った作品作りに挑戦しま

した。思い出話に盛り上がりながら楽しい時間を過ごしました。また、午後は同時進行で個別健康チェックを行いました。保健士の方に来ていただき、一人ずつ順番に血圧と脈拍測定をします。日頃の生活の中での健康や体調について気になることを質問されます。手話通訳を介して保健士さんが熱心に答えてくださいます。以前よりも質問内容が具体的にになっていたり、聞きたいことがたくさんあったりと一人にかかる時

間も長くなってきました。これは学習や健康チェックを重ねることにより情報や知識が広がり、健康管理への関心が強くなってきたからだと思います。月一回定期的に開催することにより参加者が定着し内容も充実しています。参加者が主体となりながら、これからは地域のより多くの人たちに関わってもらえる「いきいき教室」にしていきたいです。

湖北地域で初！きこえの相談を開催します

当センターでは、聴力に不安を感じておられる方々（難聴者）や人生の途中で聴力をなくした方々を対象に、家庭や職場、地域社会で人と人とのコミュニケーションをどのようにはかっしていけばいいのか、また残存聴力を活かして各自の生活にあわした補聴支援方法に関して情報提供などを行う相談事業を実施しています。

この事業は草津市にあります当センターで毎月1回開催していますが、遠方地域の方々にもぜひご利用いただきたいと思い、以下の要項で「きこえの相談」を開催します。相談は無料ですが事前に予約が必要です。ぜひご利用下さい。

湖北地域での次回は平成21年3月14日(土)米原市で開催します。

【きこえの相談のご案内】

「声が大きと言われる」「音として聞こえるのに、ことばとして聞き取れない」「補聴器をしているけど…」など聞こえに関する悩みを持っている方に、専門家が相談に応じます。聴力検査もできます。

日程：平成21年3月14日(土)
(相談は無料ですが、予約が必要です)

場所：米原
担当：吉田・中澤

聴覚障害者のよりよき相談者となるために

第23回全国ろうあ者相談員研修会 参加報告

全国のろうあ者相談員等が資質の向上のために一堂に会し、研修と情報交換を行う為に実施されています。上記の研修会が平成20年7月24日(木)～25日(金) 愛知県社会福祉会館で開催され、全国から45人の参加がありました。

1日目は、『聴覚障害者相談支援の専門性確立と全国的な設置を目指して』と題して、全日本ろうあ連盟が行いました「聴覚障害者の相談の資格・認定に関する調査研究及び聴覚障害者相談支援へのケアマネジメント等の研修」事業の報告を中心に全日本ろうあ連盟事務局長小中栄一氏より講義がありました。

報告では、障害者自立支援法が始まって、地域の中での相談員の役割が重要となってきている。聴覚障害者福祉の場合、これまでろうあ者相談員と(設置)手話通訳者の役割が曖昧だったことがあったが、今回の事業を通して、ろうあ者相談員と手話通訳者はそれぞれ役割があることがわかった。このことから今後はろうあ者相談員を資格化する必要がある。当初は国家資格としての「聴

覚障害福祉士(仮称)」創設を提案したが養成など検討課題が多いため、当面は全日本ろうあ連盟が認定する

センターだより

派遣コーディネーター研修会

京都市に於いて、手話通訳事業コーディネーター研修会が7月2日から4日の3日間開催され、全国から37人の情報提供施設の手話通訳者・要約筆記者派遣担当者が参加しました。滋賀からは、手話通訳・要約筆記派遣担当者が出席しました。

初日は派遣現場で想定したリスク回避についての講義、2日目の午前中は各施設の取り組みの発表があり、滋賀からは、「要約筆記養成のあり方と認定試験の導入」について発表を行いました。午後からは、分散会形式で手話通訳コーディネーターは現任研修会の現状、要約筆記コーディネーターは養成・派遣事業についての情報交換を行い、最終日には分散会の報告と、「高度な内容の派遣について」と現状の課題についての講義

「聴覚障害者相談支援員(仮称)」の創設を提案している。今後、この内容について具体的に検討が進められるとのことでした。

2日目は、『対人援助の技術とロールプレイ』を題して、京都ノートルダム女子大学 心理学部専任講師

を聞き、全日程の研修を終えました。

派遣現場で想定したリスク回避は、グループに分かれ意見交換を行い、コーディネーターを行う時の派遣調整において大変参考になり「考えること」「気づくこと」の大切さを痛感

しました。分散会では、登録手話通訳者の研修会は予算や研修内容も全国的に様々ですが、各地域で工夫をされており参考になりました。要約筆記では、派遣傾向や養成講座の運

佐藤睦子氏より講義とロールプレイを行い、実際の相談現場を想定してのロールプレイは大変参考になりました。

この研修は年に1回開催されており、来年度も実施される予定です。

営方法が様々で、特に障害者自立支援法の成立後、派遣対象が団体だけでなく、個人派遣時に求められる援助技術の対応が課題として明らかになりました。

今回の研修を通して課題は多くありますが、関係者や関係機関・団体との信頼関係を築き、よりよい派遣現場となるよう日々のコーディネーター業務に努めたいと思います。

センターの美化活動

老人部のみなさん、ありがとうございました。

「いつもセンターを使わせて頂いているので、そのお礼に…」と、ろうあ協会老人部のみなさんがセンター周辺の草刈り・ゴミ拾いをして下さいました。清掃活動当日(8月13日)は厳しい日射しと暑さでしたが、玄関前の柘植も丸く丁寧に剪定して下さい、とても綺麗になりました。

ろうあ協会高齢部のみなさんによる清掃活動は2回目です。この日は、職員も一緒になって汗をかきました。センターを美しく保ち、これからも多くの人に来館して頂きたいと思



新しいビデオが入りました

平成20年度 新作ビデオリスト字幕ライブラリー共同事業前期分 (平成20年10月)

- 美の巨人たち レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」前編・後編
- どうぶつ奇想天外! 最強チンパンジー軍団の限界に挑戦! 雪原を駆け抜けろ! 犬ぞりレース 特集 一年に一度! サバンナ最大の命の祭典 仰天! 華麗なるアリ
- サイエンスZERO 極限環境生物の不思議に迫る
- きらっといきる 手と手が心を聞いていく ~「いこいの村」の仲間たち~
- ふるさと発 笑顔と手話で世界をひらけ
- 福祉ネットワーク ・林家正蔵が語る手話の世界
・世界が定めた障害者の権利
- 一期一会 キミにききたい! あきらめない話@耳の聞こえない女優
- 夢の扉 NEXTDOOR EPISODE131 車いすの我が子を山頂へ お父さんたちの熱き挑戦 樋江井巨 篠田
- 夢の扉 NEXTDOOR EPISODE132 聴覚障害者の生活圏を広げる機械を発明した男 齋藤 勝
- ボカボカ地球家族 ・手話で語る夫婦の夢 ~フランス・パリ~
・イルカと暮らすことを夢みる日本人家族 ~ソロモン諸島・マライク島~
- 情熱大陸 プロボディーボーダー 甲地由美恵
- その時歴史が動いた 東京オリンピックへの道 ~平和の聖火 アジア横断リレー~
- クローズアップ現代 100歳の肖像 ~老いをどう生きる~
- 中学生日記 戦争と平和 どう教わっていますか? ~沖縄の中学生100人と出会って~
- NNNドキュメント'07 声の壁 発言できない議員
- 一期一会 キミにききたい! 親友の作り方の話@沖縄 ~群馬対話の旅
- わくわく授業 ・わたしの教え方「5分刻み」で英語が好きになる ~田尻信郎先生の英語~
・わたしの教え方 ゲームでわかる小数のしくみ ~宮本博規先生の算数~
- 君がくれた夏 ~ガンと闘った息子の730日~
- 新春ドラマスペシャル 佐賀のがばいばあちゃん
- 1リットルの涙 特別編 ~追憶~
- 金曜プレステージ ・お母さん ぼくが生まれてごめんさい
・千の風になってスペシャル第1弾 ドキュメンタリー・ドラマ 家族へのラブレター
- 千の風になってドラマスペシャル ・ゾウのはな子
・第3弾 はだしのゲン 前編・後編
- 土曜プレミアム 復活 裸の大將 ~放浪の虫が動き出したので~
- 黒澤明ドラマスペシャル 第二夜 生きる
- 乱
- 機関車先生
- 亡国のイージス
- 電撃版 獣拳戦隊ゲキレンジャー ネイネイ!ホウホウ!香港大決戦
- 黒澤明ドラマスペシャル 第一夜 天国と地獄
- ルパン三世 霧のエリュージブ
- ちびまる子ちゃん ・「夏の友情」の巻
・「まる子のおつかい」の巻 「まる子田植えをする」の巻

- 名探偵コナンスペシャル 鳥取クモ屋敷の怪
- 驚きの嵐! 世紀の実験 学者も予測不可能SP2
- 世界一受けたい授業 ・一人の国語算数理科社会
全国の先生と一緒に考えた夏の脳活性化期末テストスペシャル
・教科書に載せたい新歴史 あなたの習った世界史はもう古い!!
- 世界の絶景100選 天から舞い降りた奇跡の絶景スペシャル
- 世界ウルルン滞在記 ・「ルネサンス」小さな、小さな、妖精メガネザルが住む森へ
わずか1000匹! 絶滅寸前のメガネザルを救え! 女優 水野美紀
・「ルネサンス」カンボジア 巨大湖に浮かぶ小さな学校へ 俳優 宇梶剛士

【DVD作品】

- 美の巨人たち レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」前編・後編
- サイエンスZERO 極限環境生物の不思議に迫る
- 夢の扉 NEXTDOOR EPISODE132 聴覚障害者の生活圏を広げる機械を発明した男 齋藤 勝
- 情熱大陸 プロボディーボーダー 甲地由美恵
- 機関車先生
- 世界名作劇場 家なき子レミ
 - ・19 旅の一家
 - ・20 心の友達
 - ・21 思い出のバイオリン
 - ・22 地下からの生還
 - ・23 ふたりの願い
 - ・24 引き裂かれた愛
 - ・25 脱出!
 - ・26 私のお母さん
- 名犬ラッシー
 - ・19 コリンの初恋とたから
 - ・20 大変だ! お母さんが倒れた
 - ・21 おばあちゃんに会いたい
 - ・22 ジョンの決意・鉱山を救え
 - ・23 頑張れジョン・ラッシーを守れ!
 - ・24 消息不明・ラッシーを捜せ!
 - ・25 お帰らラッシー
 - ・26 夢に向かって走れ!
- 赤毛のアン
 - ・第16章 ダイアナをお茶に招く
 - ・第17章 アン、学校にもどる
 - ・第18章 アン、ミニ・メイを救う
 - ・第19章 ダイアナの誕生日
 - ・第20章 再び春が来て
 - ・第21章 新しい教師夫妻
- 名探偵コナンスペシャル 鳥取クモ屋敷の怪

平成20年度 後期NHK厚生文化事業団貸出委託番組

- きらっといきる 今度は私が社会に貢献したい ~下肢機能全廃・石垣まりやさん~

寄贈番組

【情報提供施設寄贈番組】

- 風を見た少年 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設
- 情熱大陸 左官 久住有生 福岡県聴覚障害者センター
- ムーブ2006 百歳前進~現役教育学者 昇地三郎~ 福岡県聴覚障害者センター
- 【寄贈作品・千葉県】
- 千葉県広報用作品 『誰もが暮らしやすい千葉県づく 全国初の障害者条例』

【寄贈作品・株式会社シグロ】

- 三池 終わらない炭坑の物語
- 【東京都消費生活総合センター寄贈】
- それでもお金、借りますか? 多重債務者の落とし穴
- 冷蔵庫から「食」を考える

タツノオトシゴ

派遣労働者問題が話題になっているなか、障害者を対象にした一般事務職員採用試験で受験資格に「口頭での会話が可能な人」などと明記されていた。こんな受験資格を見ただけでろうあ者は受験できないと思わされても不思議ではない。これを知った福祉団体が「障害者雇用を狭める」「差別採用だ」と抗議が相次ぎ、世論も大きく報道されていた▶慌てた市は採用条件に問題があったことを素直に認め、100%の撤回と謝罪を表明したそうだ。障害の種類によって限定しているそのものに問題があると当初から認識していたかどうか、市議会でも追及しているという。「口頭」イコール「口話」と連想してしまう。この発想はまだ社会の一部に根本強くあり、「話せるろうあ者」の方がマシだろうか▶国連の障害者権利条約の第2条においても手話は言語として位置付けられている。そんな世界的な流れに逆行しているわけだ▶ところが、12年間務めてきた元手話通訳者が、通訳活動の合間にろうあ者に手話を教えてきたとある季刊誌にこんな記事が載っていた。詳しく読むと、『もともともろうあ者は手話を身につけていなかった。全国で通じる手話を懸命に教えてきた。「手話を教えてくれてありがとう」と感謝された』と信じられない記事内容▶ろうあ者はいかなる集団から自然に手話を身につけたはずなのに、あの手話はおかしい、この手話こそ正しいと言って手話通訳者が指導する自体に呆れてしまう。恥ずかしいことに元手話通訳者は滋賀県在住とか。(F/1)